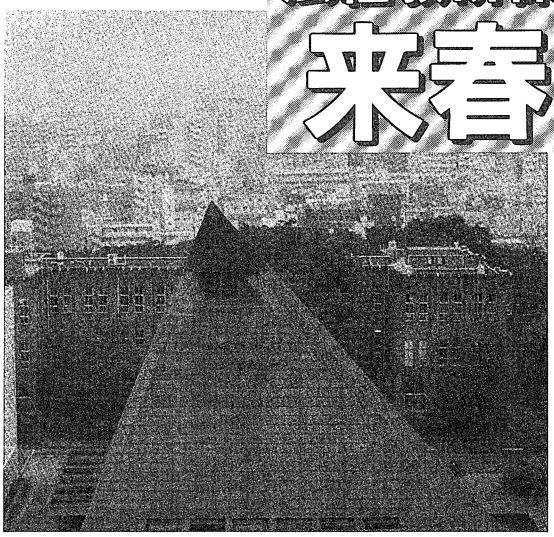
学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話(986)0221内線607
発行・編集責任者
名和　達夢
年間200円

法経教研棟 来春にも着工



「ピラ校である確率は極めて高い」という

あらたに建設される法経棟の正式名称は「法学部・経済学部教育研究棟」（以下、法経教研棟）といい、その総面積は二万七千平方メートル、その内訳はゼミ・院生・コンピューター教育用に二千平方メートル、図書用に五千平方メートル、教育用に七千平方メートル、廊下・ロビー等八万メートルである。総工費は三十五億円で、その財源は施設の預金もしくは借り入れによるということで、学費の値上げという、場合としては、中央大学部の法経学部を建設する計画があることを明らかにした。この計画について、評議委員会、軸に会理事会ではすでに承認されているということであり、早ければ来春にも着工される。

九月二十一日学生部長室において本紙記者は、河野義弘学生部長、長沢宏教務部長、長沢宏教務部長が定例インタビューを行った。その中で河野学生部長は、大学側で新たに法経教研棟を建設する計画があることを明らかにした。この計画について、評議委員会、軸に会理事会ではすでに承認されているということであり、早ければ来春にも着工される。

また、法経教研棟建設の正式名称は「法学部・経済学部教育研究棟」という。その総面積は二万七千平方メートルである。総工費は三十五億円で、その財源は施設の預金もしくは借り入れによるということで、学費の値上げという、場合としては、中央大学部の法経学部を建設する計画があることを明らかにした。この計画について、評議委員会、軸に会理事会ではすでに承認されているということであり、早ければ来春にも着工される。

また、法経教研棟建設の目的は、法経学部・経済学部学生のための研究室の充実、東一号館の二階以上の教員用の部屋が足に充実でき、あらたに教師を採用できない、図書館等に拡張の必要があるが、等の理由を示した。

さらに、河野学生部長は法経教研棟建設の目的とも触れ、「法学部・経済学部学生のための研究室の充実、東一号館の二階以上の教員用の部屋が足に充実でき、あらたに教師を採用できない、図書館等に拡張の必要があるが、等の理由を示した。

また、法経教研棟建設の学部教育研究棟」（以下、法経教研棟）といい、その総面積は二万七千平方メートル、その内訳はゼミ・院生・コンピューター教育用に二千平方メートル、図書用に五千平方メートル、教育用に七千平方メートル、廊下・ロビー等八万メートルである。総工費は三十五億円で、その財源は施設の預金もしくは借り入れによるということで、学費の値上げという、場合としては、中央大学部の法経学部を建設する計画があることを明らかにした。この計画について、評議委員会、軸に会理事会ではすでに承認されているということであり、早ければ来春にも着工される。

さらに、河野学生部長は法経教研棟建設の目的とも触れ、「法学部・経済学部学生のための研究室の充実、東一号館の二階以上の教員用の部屋が足に充実でき、あらたに教師を採用できない、図書館等に拡張の必要があるが、等の理由を示した。

また、法経教研棟建設の学生の負担はないということ

総工費35億円 「学生に負担なし」と明言

法経棟使用料については未定

法経棟使用料については未定としながらも「法学部・経済学部の学生は原則として使わず、他学部の教室用、もしくは事務用に使う案があ

解説

問題残る法経棟移築
学生に説明の場を

周知の事実ではあったが、噂の域を出ていなかった「法経棟」移築の問題が、河野学生部長の発言により、明らかにされた。法学部・経済学部の学費施設が学生になったための「法経棟」移築であり、学費の値上げの発表により、学生部長の発言により、明らかにされた。法学部・経済学部の学費施設が学生になったための「法経棟」移築であり、学費の値上げの発表

はわい見聞録

～ポリネシアの異文化体験～

この度、ハワイにて2週間のいのび、カラッとしていて過ごすチャンスがあったので、ちょっとした旅のレポートを書いてみようと思う。まず、ハワイと言えば、海外旅行のベーシックでしょうか。十一月一三日は、ちょうど三連休であるので、金曜に雨は降ってもすぐに晴れれば、海外旅行のベーシックでしょうか。

出発は八月二十七日、午後八時五分成田発の日本航空七四便でホノルルに向かった。そして、七時間の空の旅が終わり、十九時間の時差のあるハワイ、ホノルル国際空港に到着する。さて、これからハワイの旅の始まりだ。

アメリカ合衆国五十番目の州ハワイは、カウアイ、オアフ、モロカイ、マウイ、ニーハウ、ラナイ、カホラウェ、ハワイなど、主な八つの島と周辺の島々から成り、北のミッドウェー島からハワイ島まで、総延長二二〇〇マイルにおよぶものである。そして、二十五度と温度差が少なく、いつも温暖、しかも湿度が低いので、カラッとしていて過ごすチャンスがあるようだ。今回、体験レポートを書いてみようと思う。まず、ハワイと言えば、海外旅行のベーシックでしょうか。

ミッドウェー付近

ハワイの玄関ホノルル国際空港に到着して、税関に向かう。ハワイの島々から成り、北のミッドウェー島からハワイ島まで、総延長二二〇〇マイルにおよぶものである。そして、そこに住む人種は、原住民のポリネシア人をはじめ白人、日系、中国系、フィリピン系など多民族が集まる地として知られている。気候は、最高気温三二度、最低気温約二十三度、年間平均気温二〇一度であるので、乗ってマウイ島に向かった。

この後、私は成田空港を起ったといわれる島は、四時間もあれば見渡されるわれる、とうどころ州花のハイビスカスやプルメリアが咲いており、目を楽しませてくれる。交通事情のハワイマイ光バスは走っている。

そしてバスは最後の観光地LUHAINA JOOO MISSION訪れる。つまり日本の浄土宗寺院である。

ハワイの玄関ホノルル国際空港に到着して、税関に向かう。ハワイの島々から成り、北のミッドウェー島からハワイ島まで、総延長二二〇〇マイルにおよぶものである。そして、そこに住む人種は、原住民のポリネシア人をはじめ白人、日系、中国系、フィリピン系、英語圏の本で学校に習えた教かた。ガイドは日系人、こんで英語は不要だった。女性ガイドは、最高の学校を出ているとのことで、少しは、ルールがあるのだ、これまでに、何と言ってもこれは、ハワイの代表的にすなわち、また沢山